

令和元年9月定例会 陳情

令和元年陳情第10号

令和2年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い

・受理年月日

令和元年8月29日

・陳情の要旨

すでに、小学校・中学校・高等学校ともに新学習指導要領が告知された。理科教育においては観察・実験を体験する理科授業が重視されている。今回初めて学習指導要領の中で「環境整備に十分配慮すること」という一文が加えられ、観察・実験重視の視点から、これが十分実施できる理科教育環境整備に対する対応が重要であることが論じられている。しかし、当協会の調査では小中高での理科教育環境は十分とは言えず、特にも「観察・実験機器の不足」と挙げられている。本補助金事業は、小中高の観察・実験機器の整備拡充のための予算だが、補助を受ける団体が総事業費の半分を負担する事業となっており、積極的に本事業を取り込み機器の充実に着手している自治体と未実施の自治体との地域格差が生じている。ついては、理科教育環境向上のため下記事項を要望する。

陳情事項

- ・ 令和2年度 理科教育設備整備予算の計上
(理科教育設備整備費等補助金事業への積極的取り組み)
- ・ 観察実験に伴う消耗品について十分な予算措置
- ・ 理科観察実験が十分に行える場所(理科室)の確保
- ・ 実験支援員の配置

・陳情者

東京都千代田区神田小川町3-28 昇龍館ビル
公益社団法人日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇

・処理結果

本会議において報告しました。

上記項目を記載した陳情文書表を、全議員及び本会議に出席した当局職員へ配付しました。